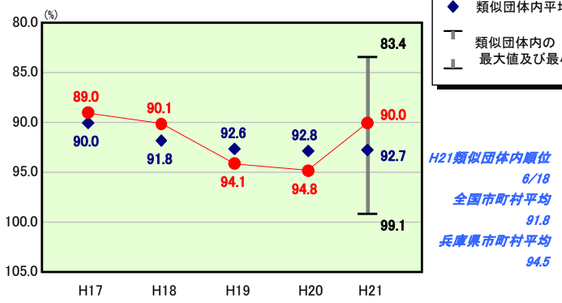
歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

兵庫県 西脇市

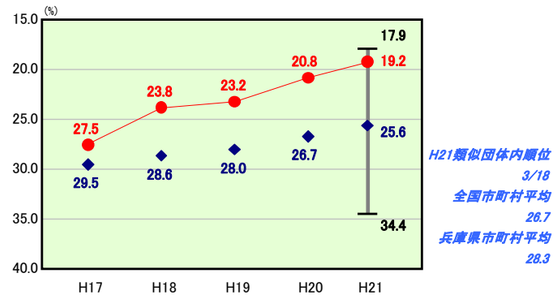
経常収支比率の分析

経常収支比率(合計)



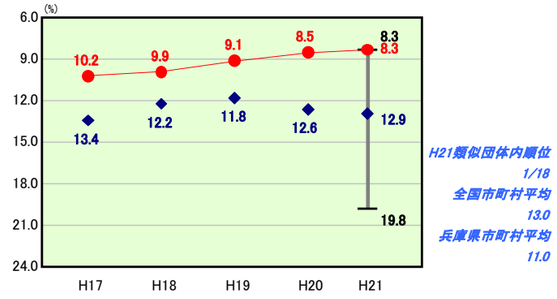
H21類似団体内順位 6/18
全国市町村平均 91.8
兵庫県市町村平均 94.5

人件費



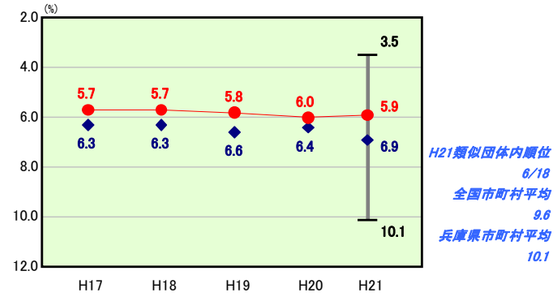
H21類似団体内順位 3/18
全国市町村平均 26.7
兵庫県市町村平均 28.3

物件費



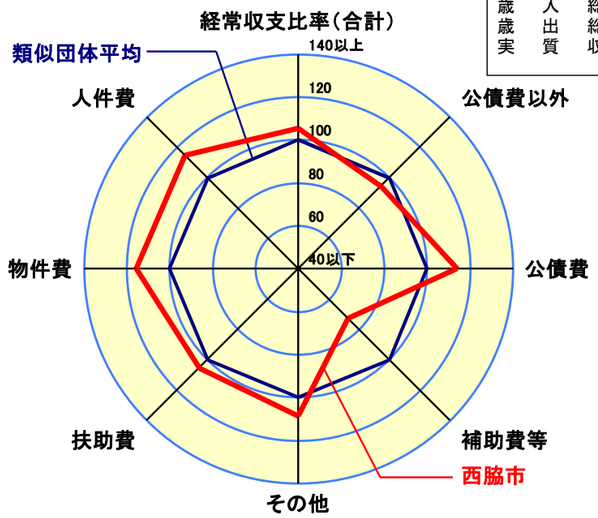
H21類似団体内順位 1/18
全国市町村平均 13.0
兵庫県市町村平均 11.0

扶助費



H21類似団体内順位 6/18
全国市町村平均 9.6
兵庫県市町村平均 10.1

人口	43,994 人(H22.3.31現在)
面積	132.47 ㎢
標準財政規模	11,373,478 千円
歳入総額	19,278,194 千円
歳出総額	18,521,522 千円
実質収支	639,874 千円

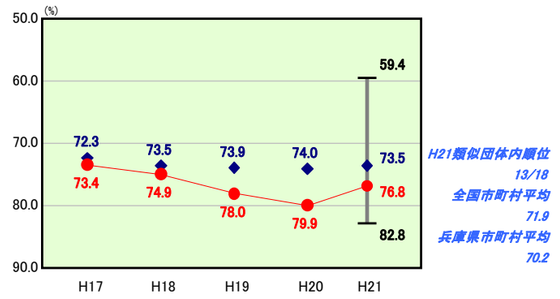


※1　本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)

2　当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。

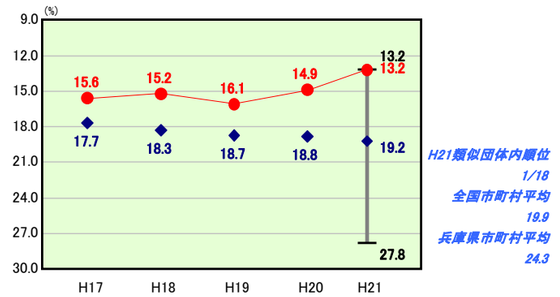
3　類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費以外



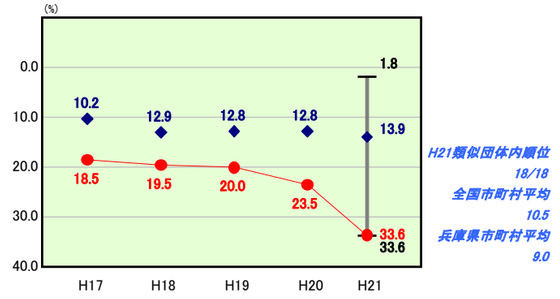
H21類似団体内順位 13/18
全国市町村平均 71.9
兵庫県市町村平均 70.2

公債費



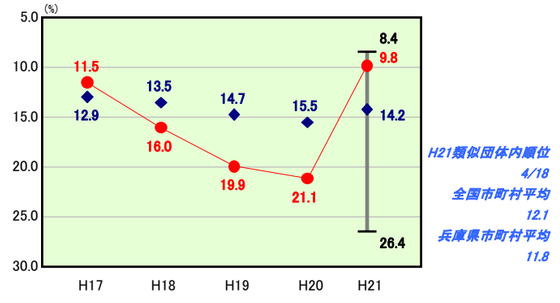
H21類似団体内順位 1/18
全国市町村平均 19.9
兵庫県市町村平均 24.3

補助費等



H21類似団体内順位 18/18
全国市町村平均 10.5
兵庫県市町村平均 9.0

その他



H21類似団体内順位 4/18
全国市町村平均 12.1
兵庫県市町村平均 11.8

分析欄

●人件費
　人件費に準ずる費用(臨時職員賃金や一部事務組合負担金)は類似団体平均を上回っているが、人件費は下回っている。平成17年度合併以降の大量退職者の不補充が大きな要因となっている。今後も定員適正化計画を着実に実施し、人件費の削減に取り組む。

●扶助費
　扶助費については、平成20年度比較して、生活保護費や乳幼児医療費等が増加している。類似団体平均よりも下回っているが、増加傾向にあるため、更なる経常経費の削減に取り組む。

●公債費
　一般会計の公債費については、類似団体と比較して低い水準にあるが、公営企業債の償還財源や一部事務組合等の償還財源に相当する準元利償還金を含めると高い水準となっている。実質公債費比率は14.8%と前年度と比較して0.8ポイント改善しているが、全国市町村平均と比較しても高い水準にある。これらを踏まえ、中長期の財政収支見通しのもと、適切な事業実施に努めていく。

●補助費等
　補助費等が類似団体平均を大きく上回っているのは、ごみ処理や消防業務等を事務組合で行っていることや病院事業や下水道事業に対する一般会計からの負担金が大きな要因となっている。病院事業においては、公立病院改革プランを着実に実行し経営改善を図るとともに、下水道事業においては、下水道使用料の適正化による負担金の抑制に努める。また、前年度比10.1ポイント増加しているのは、定額給付金による増及び下水道事業繰出金から負担金への移行によるものが大きい。